申込書記入日	平成　28　年　7　月　19　日

長野県佐久穂町コミュニティ創生事業プランコンテスト応募申込書

〔記載上の留意事項〕

１．下記の「応募上のご注意」を了解し、同意の上、記載してください。

２．本様式中の各項目に関し、記入しきれない場合、当該項目に「別記」と記入のうえ、任意の様式による記載をしていただいてかまいません。ただし、その場合であっても、本申込書と合わせて１０枚以内（Ａ４サイズ）での記載としてください。

１．応募者概要

法人・団体		個人			
ふりがな		ふりがな	たけうち　たつろう		
法人・団体名		氏名	竹内　達朗		
ふりがな		性別	男	年齢	
代表者氏名					
共通					
所在地（住所）					
電話番号		FAX番号			
E-mail					

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの実施のために利用いたしますので、法令に定めのある場合やご本人が同意している場合を除き、目的外利用することや第三者に提供することはありません。

【応募上のご注意】

・応募書類は返却しません。控えなどは応募者において対応して下さい。
・審査内容の詳細・結果に関するお問合せには一切お答えできません。
・本コンテストへの参加は無料です。ただし、調査費、通信費及びその他応募に係る一切の費用は応募者負担となります。
・使用言語は日本語とします。
・提案に当たっては個人等を中傷する表現は避けて下さい。
・応募資格に対する虚偽の事実や募集要項に対する違反があった場合には、失格や取消とする場合があります。
・知的財産権及び事業プランの取り扱いについて、募集要項に記載された事項をあらかじめご理解いただいた上で、応募して下さい。

２．事業プラン

（１）事業プラン名

住民自治組織（区）の再編による地域活動の活性化

（２）事業目的（該当するものに〇をつけてください）

① 人口が減りつつある集落で、集落機能の維持ができるようになるための事業プラン

② 地域の多様な人材を活用しながら、生活を支える仕組みができるようになるための事業プラン

③ 地域ぐるみで、子育て支援を進める仕組みができるようになるための事業プラン

（３）事業プランの概要・説明
※事業目的、事業の内容、ターゲットなど

地縁団体とも呼ばれる住民自治組織は一般に地方自治体（区市町村）では区と呼ばれることが多く、佐久穂町でも区としている。町村合併による行政が広域化したこと、また住民ニーズが多様化する中で住民自身の自治活動は重要になっている。佐久穂町では、区長を行政連絡員として登録し、町の課題への協力を得ながら行政事務を進めている。そのような中、少子高齢化による役員の後継者不足、近所づきあいの希薄化による自治会（区）活動への不参加、個人情報保護に対する意識の高まりなどにより活動の維持が難しくなっている。

そのため

１．区の統廃合を行い、町の規模に沿った数に整理する。

現在、５８ある区を２０程度に整理統合する。また、区ごとの世帯数にも大きなばらつきがあり、運営は一様ではない。これは歴史的・地理的な背景があり、一概に是非を論じるものではないが、効率的とはいえない面がある。運営の効率化や公費負担の公平化から、また区長の研修機会等を考慮して整理統合を行う。　（県内の自治体との比較や統合の私案を別紙に示す。）

２．自治体職員（役場職員）を各地区の担当職員として活動支援するよう配置する。

役場職員自身が在住する地域を原則として担当する。担当地区の役員会などに定期的に参加し、事務局的な役割を果たす。このことを通じて地域（区）活動を活性化することが期待でき、町の総合計画をより深く進めることが考えられる。また、この活動への参加は職員研修でもあり、優れた職員の養成となり、リタイア後も地域の仲間として豊かな人生を得ることができる。

３．地縁団体の法人化手続を促進する。

現在、いくつかの区では法人化が行われている。法人格を取得することにより不動産を区の名義で登記することが可能となる。実際、不動産の管理（名義変更）の必要性から法人格取得を考える事例が殆どである。空き家・遊休耕作地・空き店舗・空き工場などが増えている現在、これらの不動産を如何に生かしていくのかは課題であり、区の共有財産とすることで管理や活用の可能性が広がることが期待できる。

４．他の地域コミュニティとの連携を図る

観光資源を活用し環境改善に取り組む団体や健康増進に励むなどこの地域には様々な目的をもった地域コミュニティの活動が広がっているので、こうした活動との連携を図ることで有機的に地域活動を活性化させることができる。

（４）事業プランの審査基準との適合性

①事業効果

１．区の統廃合により、町行政との連絡調整がスムーズに行うことができる。
２．地域自治活動をより活性化することができる。
３．町職員の研修・研鑽の場となり、職員意識向上と能力の開発となる。
４．空き家、遊休耕作農地の解消につながる。

②地域性

１．自然環境・産業資源・観光資源に恵まれている。

水と緑をはじめ豊富な自然資源を有している。野菜・果樹・米穀などの栽培に適した産業資源を有している。広大なシラカバ原生林をはじめ観光資源にも恵まれている。また、自然災害の発生が少ない。

２．健康管理の歴史と実践の地

旧八千穂村と佐久総合病院が進めてきた健康管理運動の歴史が根付き、全国に誇れる健康管理活動が定着している。

３．都市との交流・交通手段

中部横断自動車の開通により、都市や他の地域との交通の利便性が格段に向上する。東京都府中市との姉妹都市関係にあり都市部との強い交流のパイプを持っている。

③実現可能性

・地域自治組織（区）にはそれぞれ固有の歴史や文化的な経過もあるので、一定の抵抗感が予想される。区の統廃合にあたっては地元の理解を得ながら、住民の主体性を尊重しながら進めていく。

統合案を考えても、区の数を３分の１にすることは相当の無理を感じる。当面は旧来の区で運営することも認め、ただ統合した新たな区から代表（行政連絡員）を選出するようにしていく。

・比較的多くの職員が町に居住しているので、地域担当制度を進めるのは困難ではないと考えられる。

・地域担当職員を配置することで、地縁団体の法人格取得の手続にあたっても苦労が軽減される。

④新規性・独創性

地道なプランではあるが、基礎的な部分となる地域自治組織を固めていくことでしっかりした行政運営や地域づくりが可能となる。